

様式第1号 (第8条関係)

年 月 日

公益財団法人えひめ産業振興財団

理事長 大塚 岩男 様

住 所 〒●●●●-●●●●

松山市●●町1-2-3

氏 名 株式会社 えひめ産業

代表取締役 愛媛太郎



地域密着型ビジネス創出助成事業応募申込書

地域密着型ビジネス創出事業助成金交付要綱第8条の規定により、次のとおり応募申込書を提出します。

記

1 添付書類

応募書類	その他
助成事業計画書 ①別紙1 (事業の概要) ②別紙2 (収支計算) ③別紙3 (提出者の概要)	①愛媛県が課税するすべての県税(地方消費税を除く。)に未納がないことを証する書類(県税等の未納がないことの証明)(正本1部) ②定款、履歴事項全部証明書、直近3期分の貸借対照表・損益計算書・販売費及び一般管理費の内訳書(各写し1部) ③「パートナーシップ構築宣言」した場合は、ポータルサイトにアップロードした「パートナーシップ構築宣言」の写し

2 連絡先

電話番号	() -
ファックス番号	() -
E-mail	@
担当者 所属・氏名	

【確認事項 (□にチェック及び記入してください)】

暴力団関係企業、違法な行為又は不正な行為を行った中小企業者、その他当財団が不適当と判断

大企業

確定し

が15億

(過去3年分の課税所得額を記載してください。)

損益計算書の「税引き前当期純利益」ではなく、**法人税申告書の「所得金額又は欠損金額」を記入**
 ※「所得金額又は欠損金額」によって、〇千万円、〇百万円等、適宜単位を変えて記入してください。
 ※創業間もない等、課税所得を算出していない場合は「-」を記入してください。

	前年	2年前	3年前
課税所得額	4.7億円	6億円	5.2億円

※上記への該当の有無の確認のため、必要がある場合には、納税証明書等の提出を求めることがあります。(備考)用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

○事業の詳細

①事業及び商品・サービスの概要

〇〇においては、〇〇〇〇等により高齢化が進み、担い手の確保等に苦慮しているところである。そこで、全国有数の〇〇産地とされる地域資源△△は、高品質であるものの、量産化や海外輸入の影響により、現在は価格低迷に陥っている。そのような状況の中、当事業は、規格外品とされる□□ならではの魅力や面白さなどの特徴を活かし、新しい付加価値と差別的優位性を持たせた商品を試作し、改良を行うことで、地域資源△△の新たな市場を開拓し、地域産業の活性化、雇用の創出につなげる。

また、試作品については、市場や消費者調査を踏まえて改良するほか「〇〇展示会」に出展し、バイヤーや一般消費者に対してアンケートを実施するなどの評価からその結果を商品に活かし、全国の〇〇をターゲットとして販売を行っていく。

※地域資源を活用してどのような地域課題解決型ビジネスを実施するのか、概要を記載してください。(その事業を実施するに至ったきっかけとこれまでの取組状況も踏まえて)

②類似事業の有無、その事業との違い(優位性及び弱点)

同業者の多くは、変形した地域資源の□□を規格外品として取り扱っており、現時点での〇〇市場における当該事業製品は、競合が少なく成長段階にある。

■優位性

- ・愛媛県産の△△は、全国的に認知度が高く、信頼性がある。
- ・独自の技術を活かしたデザイン性の高い商品で、品質・価格面においても既存の市場とは異なる柔軟な事業展開ができる。

■弱点

- ・地域資源の△△は、天然で素材そのものは質の高いものであるが、その形状から規格外として取り扱われ、商品の価値がほとんどない現状である。規格外品としての既成概念を払拭し、新たな市場の開拓と販売戦略が必要不可欠である。

表：本事業の製品〇〇と競合製品等との比較検討表

	品質	価格	ターゲット	販売方法
当社製品	天然〇	〇円	30代~50代(女性)	BtoB、BtoC
他社A製品	天然□	□円	□	□
他社B製品	天然△	△円	△	△
他社類似C製品	天然×	×円	×	×

【参考資料】 〇〇出典、〇〇ホームページ

※競合製品としてどのようなものが考えられ、それと比べてどのように優れているのか、劣っているのかなど、できるだけ多面的に比較検討して記載してください。

③市場規模(ターゲット層、顧客数、対象エリア、市場の状況、将来性)

本事業で製造販売する〇〇は、従来の類似品とは異なり、価格やデザインという観点からも、商品の購買におけるターゲット層が〇〇であり、〇〇市場における既存商品との棲み分けにより、新たな販路が見込まれる。

また、本製品の属する〇〇市場の規模は、令和××年の◇◇調査によると〇〇であるが、〇〇市場の需要は、インターネットなどの情報通信網の発達を背景としてターゲット層を中心に需要が伸び、その市場は、拡大すると期待できる。

【参考資料】 令和××年◇◇調査(〇〇出典)

■ターゲット層について

当該商品の購入対象として期待できるのは、〇〇から〇〇歳代のブランドに拘らない女性層。ただし、購入する商品については、素材やデザインの良さを理解し、ある程度の人的ネットワークを所有していると考えられる層を中心に顧客層とする。

■顧客数について

令和××年の〇〇統計資料から推察できる顧客数は、△、△△△、△△△人である。

【参考資料】〇〇出典

■対象とするエリアについて

営業活動については関東圏を中心とするが、ターゲットである〇〇の有する人的ネットワークを通じた口コミやホームページ開設による宣伝効果を活かし、全国を対象とする。

■市場の状況について

バブル期の〇〇市場規模は、バブル崩壊後縮小し続けたが、令和△△年によく歯止めがかかり、前年に比べて1.2%増の△△億円となっており、令和□□年頃までは、増加傾向にあると予測されている。

【参考資料】令和××年(株)〇〇統計事務所調べ

■将来性について

本事業で製造販売する〇〇は、従来の類似品とは異なり、規格外品に価格やデザインという付加価値を付けた新商品として差別化を図り、新たな市場を開拓することで新たな地域ブランドを構築することができる。

※どのような顧客層をターゲットとするのか、各種統計資料などを参考に市場ニーズの背景などを踏まえて、現状や将来性について記載。

④販売方法等（顧客確保の方策、販売価格、販売方法、PR方法）

■顧客確保の方策

- ・展示即売会や商談会を通じた新規顧客の開拓
- ・ホームページによるインターネットを利用した新規顧客の獲得
- ・既存顧客等からの口コミによる紹介

■販売価格

各年代における嗜好や特性に応じた商品化を行い、価格を設定する。

対象	デザイン	価格
20歳後半～	A	A円
30歳代	B	B円
40歳代	C	C円
50歳代以上	D	D円

■販売・PR方法

- ・関東圏におけるバイヤーへの営業活動
- ・展示会出展やコンテストへの出品によるPR
- ・その他各種メディア等への掲載

※上記③のターゲットとする市場において、誰を対象に、どのような手順で、どのようにして販売戦略を進めていくのか、具体的に記入してください。

⑤成果目標

助成期間中の売上計画額

〇〇〇,〇〇〇円

⑥事業スケジュール

ア 助成事業期間の事業スケジュールを具体的に記載してください。

令和××年 9 月：マーケティング調査実施
令和××年 10 月：新商品デザイン企画
令和××年 11 月：試作品製作
令和××年 12 月：マーケティング調査実施（消費者調査）
令和××年 12 月：商品改良
令和□□年 1 月：ホームページ製作
令和□□年 2 月：○○展示会へ出展

イ 助成事業期間終了後の事業展開予定・スケジュールに雇用計画、収支見込を含め、将来展望について、その概要を記載してください。

令和□□年 5 月：○○百貨店での新商品即売会の実施
令和□□年 7 月：○○コンテストへ出品
令和□□年 7 月：ホームページの更新
令和□□年 9 月：商品リニューアルのためのデザイン企画
令和□□年 9 月：○○デザインコンテストへの応募
令和□□年 11 月：新商品販売会の実施

⑦助成内容及び効果の見込み

助成事業により商品のブランド構築が行われ、ロゴデザインやPRツールの充実が期待できる。
助成事業により導入した○○○の設備備品を活用して、自社での一貫製造体制が構築でき、より迅速な顧客対応型のビジネスが実現できる。
助成事業により実現した展示会出展や□□□□などの販促グッズの作成により、商品の訴求効果が得られ、成果（売上）目標を達成するためのPRツールとして欠かせないものとする。

⑧事業実施に必要な許認可等の内容及びその見込

※事業実施に必要な申請や届出、資格等があれば、その名称や取得の見込み等を記載してください。

⑨補助金の交付を受けた実績又は申請中の補助金

※応募事業に関連して従来補助金の交付を受けた実績や、現在申請中の他の補助金があれば、その名称、交付者、交付金額及び交付年度を記載してください。

⑩えひめ産業振興財団からの支援実績

※過去の助成金、よろず支援拠点、ビジネスサポートオフィス等による支援を受けた実績があれば、概要等を記載してください。

⑪今回の事業への協力者

地元市町、商工会議所、地域グループなど申請事業に関する協力者を記載してください。

○○商工会議所、△△株式会社（○○の加工支援）、○○地区まちづくり協議会

※それぞれの記入欄については、適宜、枠を調整するとともに、「別紙1-1/事業の概要」から「事業の詳細①～⑪」について、【合計4枚以内】に収まるようにしてください。記載しきれない内容については、追加資料（枚数制限なし）で対応して下さい。

別紙 2

○事業経費一覧表 (全体)

(単位:円)

経費区分	名称	積算内訳	助成事業に要する経費	助成対象経費 (消費税等を除く)	助成金交付申請額
(1) 設備・備品費	加工機械類	乾燥機 1台 冷蔵庫 1台 電解水生成装置 1台	550,000 220,000 330,000	500,000 200,000 300,000	
計			1,100,000	1,000,000	500,000
(2) 土地・建物賃借費	土地建物賃借	●●家賃 (110,000円×7か月) 駐車場借上料 (8,800円×7か月)	770,000 61,600	700,000 56,000	
計			831,600	756,000	378,000
(3) 知的財産登録経費					
計					
(4) マーケティング費	広告宣伝	H P 作成 パンフレット作成(1000枚)	946,000 88,000	860,000 80,000	
計			1,034,000	940,000	470,000
(5) 技術指導受入費	謝金	●●技術取得講師料 (93,500円×4回)	374,000	340,000	
計			374,000	340,000	152,000
(6) その他の経費					
計					
合計			3,339,600	3,036,000	1,500,000

○資金計画 (全体)

(単位:円)

区分	助成事業に要する経費	資金調達先
助成金	1,500,000	公益財団法人えひめ産業振興財団
自己資金	1,839,600	
借入金		
その他		
合計額	3,339,600	

※助成対象に該当する期間の事業経費及び資金計画を記入のこと

○損益計算及びキャッシュフロー計算

(単位：千円)

項 目		決算期	年 月期決算	年 月期決算	年 月期決算
前期繰越金(A)					
収入	売 上				
	その他の収入				
	収入合計(B)				
支出	仕入原価				
	人件費				
	その他の支出				
	支払合計(C)				
減価償却費(D)					
当期収支差額(E) (B-C-D)					
助 成 金(F)					
自 己 資 金(G)					
借 入 金(H)					
設 備 投 資(I)					
借入金返済(J)					
次期繰越(A+B-C+F+G+H-I-J)					

採択後の決算期から3年間の応募する事業に関する情報を記載してください。

※収入及び支出については、積算内訳を明記すること。

提出者の概要 (法人用)

(※) グループで提出する場合は、全構成員について記入のこと。

法人名			創業	年 月 日		
代表者						
住所						
資本金	円	従業員	常勤雇用	パートアルバイト		
			人	人		
株主の状況	株主氏名	住所	持株数	比率	備考	
主要生産・販売品目及び金額	品 名		生産金額 (千円)			
			最近決算期		前決算期	
			自 年 月 日	自 年 月 日		
			至 年 月 日	至 年 月 日		
現有施設	用途	所在地		面積		
	土地					
	用途	建物の構造		面積		
	建物					
主要設備	機械又は装置	用途	台数	備考		

○これまでの収支状況(直近3年間について記入)

	年 月期	年 月期	年 月期
売上高	千円	千円	千円
経常利益 (所得金額)	千円	千円	千円

グ ル ー プ の 構 成

(※) グループで提出する場合のみ提出すること。

(グループの名称：)

1 グループの内訳

①名 称 (企 業 名)	(グループの代表者)					
②代表者職・氏名	グループでの応募の場合のみ添付してください。					
③本 社 所 在 地						
④資本金 (千円)						
⑤従業員数 (人)	常勤雇用	パートアルバイト	常勤雇用	パートアルバイト	常勤雇用	パートアルバイト
⑥ 本 事 業 の 実 施 体 制	実 施 場 所					
	担 当 部 署 名					
	主たる担当者の 職・氏名					
	事業担当者の人数					
	連 絡 先 (電話番号)					
	グループでの 役割・分担					

2 グループ構成 (役割) のイメージ図